

タイトル「**2018年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2018年度 教養科目シラバスー「教養の森」科目群【科目群2】**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	天文学		
担当教員	秋山 演亮、 富田 晃彦、 尾久土 正己、 中串 孝志		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	水2	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年 人数制限有(374名) 単位互換学生・学部開放授業登録者は別枠履修可 【宇宙科学】修得者は履修不可		
科目名(英語表記)	Astronomy		
授業の概要・ねらい	天文学は中世に大学ができたときから教養科目(自由七科)の中に含まれていた教養にとって中心的な科目です。本講義では、地球や惑星などの運動などの古典的な内容から、受講年度に発見、発表されたような最新の天文学まで扱います。天文学はそこへ行って、直接調査研究が行えない遠方の天体を対象にしているため、地球に届く光や電波などの電磁波や宇宙線、最近では重力波などを観測することで間接的にその姿を解明します。また、宇宙の歴史は138億年と長く、宇宙の広さは少なくとも数百億光年はあると考えられています。このような広大なスケールの宇宙をあらゆる科学の成果を用いて間接的に解明する天文学の手法を通じて、地球上で起こっている様々な自然現象、社会現象を宇宙からの視点で捉えることができるような力を養います。		
授業計画	回	内容	
	1	合同セッション「天文学との出会い」	
	2	天体としての地球	
	3	太陽系の世界	
	4	太陽と私たち	
	5	恒星の世界	
	6	恒星の進化	
	7	銀河系の世界	
	8	合同セッション「私が愛した天文学」	
	9	銀河と宇宙	
	10	宇宙の誕生	
	11	天文学最前線(外部講師の可能性あり)	
	12	宇宙と文化芸術	
	13	宇宙に旅立つ	
	14	宇宙と社会	
	15	合同セッション「教養と天文学」	
到達目標	天文学を通じて宇宙からの視点、総合的な物事の見方を身につける。		
成績評価の方法	レポート100%。但し、出席は2/3以上必要。		
教科書	なし		
参考書・参考文献	講義中に適宜紹介します。		
履修上の注意・メッセージ	この講義は通常の講義形式ではなく、毎回複数教員が参加し、毎回のテーマに沿って議論を行います。学生の皆さんも積極的に議論に参加してください。		
履修する上で必要な事項	講義資料はMoodleに置きます。各自、PCでダウンロードして活用しましょう。		
受講を推奨する関連科目			
授業時間外学修についての指示	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。		
その他連絡事項			